

# XIV 環 境

## 130 公害苦情受理件数

(単位：件)

区分	大気汚染	水質汚染	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	その他	合計
平成27年度	-	9	-	8	4	-	2	-	23
平成28年度	-	10	-	9	2	-	-	-	21
平成29年度	-	28	1	6	-	-	2	-	37
平成30年度	2	26	-	3	-	-	2	-	33
令和元年度	-	17	-	4	-	-	4	-	25

資料：環境課

## 131 二酸化硫黄に係る環境基準の適合状況

区分	年平均値 (ppm)	1日平均値の 2% 除外値 (ppm)	短期的評価 による適否	長期的評価 による適否	
		0.04ppm以下 であること	(○)(×)	(○)(×)	
三日曾根 観測局	平成27年度	0.000	0.001	○	○
	平成28年度	0.000	0.001	○	○
	平成29年度	0.000	0.001	○	○
	平成30年度	0.000	0.001	○	○
	令和元年度	-	-	-	-
海老江 観測局	平成27年度	0.000	0.002	○	○
	平成28年度	0.000	0.001	○	○
	平成29年度	0.000	0.001	○	○
	平成30年度	0.000	0.001	○	○
	令和元年度	0.000	0.001	○	○
太閤山 観測局	平成27年度	0.001	0.002	○	○
	平成28年度	0.001	0.002	○	○
	平成29年度	0.001	0.002	○	○
	平成30年度	0.001	0.002	○	○
	令和元年度	0.001	0.002	○	○

注) 1 短期的評価による適(○)とは、1時間値の1日平均値がすべての有効測定日(1日20時間以上の測定が行われた日をいう。)で0.04ppm以下であり、かつ1時間値がすべての測定時間において0.1ppm以下をいう。

2 長期的評価による適(○)とは、年間にわたる1日平均値のうち測定値の高い方から2%の範囲にあるものを除外した後の最大値が0.04ppm以下であり、かつ年間を通じて1日平均値が0.04ppmを越える日が2日以上連続しないことをいう。

3 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画(平成31年4月)」に基づき、令和元年度に三日曾根観測局の測定が終了。

資料：富山県環境白書

### 132 二酸化窒素に係る環境基準の適合状況

区分	年平均値 (ppm)	1日平均値 (ppm)	環境基準の 適否  (○)(×)	
		0.04ppmから 0.06ppmまでの ゾーン内または それ以下であること		
三日曾根 観測局	平成27年度	0.005	0.015	○
	平成28年度	0.006	0.019	○
	平成29年度	0.006	0.018	○
	平成30年度	0.005	0.013	○
	令和元年度	-	-	-
海老江 観測局	平成27年度	0.006	0.016	○
	平成28年度	0.006	0.016	○
	平成29年度	0.006	0.013	○
	平成30年度	0.005	0.011	○
	令和元年度	0.005	0.014	○
太閤山 観測局	平成27年度	0.007	0.017	○
	平成28年度	0.007	0.016	○
	平成29年度	0.007	0.017	○
	平成30年度	0.006	0.013	○
	令和元年度	0.006	0.014	○

※参考 自動車排出ガス観測局

小杉鷲塚	平成27年度	0.008	0.021	○
	平成28年度	0.007	0.018	○
	平成29年度	0.008	0.021	○
	平成30年度	0.007	0.015	○
	令和元年度	-	-	-
小杉下条	平成27年度	0.014	0.030	○
	平成28年度	0.013	0.032	○
	平成29年度	0.012	0.025	○
	平成30年度	0.011	0.020	○
	令和元年度	-	-	-

注) 1 環境基準の適(○)とは、年間にわたる1時間値の1日平均値のうち低い方から数えて98%目にあたる値が、0.04ppmから0.06ppmのゾーン内又はそれ以下であることをいう。

2 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画(平成31年4月)」に基づき、令和元年度に三日曾根観測局及び自動車排ガス観測局の小杉鷲塚局、小杉下条局の測定が終了。

資料：富山県環境白書

### 133 浮遊粒子状物質に係る環境基準の適合状況

区分	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1日平均値の 2% 除外値 (mg/m <sup>3</sup> )	短期的評価 による適否 (○)(×)	長期的評価 による適否 (○)(×)	
		0.1mg/m <sup>3</sup> 以下 であること			
三日曾根 観測局	平成27年度	0.016	0.048	○	○
	平成28年度	0.014	0.033	○	○
	平成29年度	0.013	0.034	○	○
	平成30年度	0.013	0.034	○	○
	令和元年度	-	-	-	-
海老江 観測局	平成27年度	0.016	0.048	○	○
	平成28年度	0.013	0.034	○	○
	平成29年度	0.012	0.032	○	○
	平成30年度	0.011	0.033	○	○
	令和元年度	0.008	0.026	○	○
太閤山 観測局	平成27年度	0.017	0.041	○	○
	平成28年度	0.019	0.037	○	○
	平成29年度	0.018	0.042	○	○
	平成30年度	0.019	0.048	×	○
	令和元年度	0.016	0.036	○	○

※参考 自動車排出ガス観測局

小杉鷲塚	平成27年度	0.017	0.051	○	○
	平成28年度	0.013	0.034	○	○
	平成29年度	0.013	0.036	○	○
	平成30年度	0.013	0.037	○	○
	令和元年度	-	-	-	-
小杉下条	平成27年度	0.018	0.041	○	○
	平成28年度	0.016	0.031	○	○
	平成29年度	0.013	0.033	○	○
	平成30年度	0.013	0.033	○	○
令和元年度	-	-	-	-	

注) 1 短期的評価による適(○)とは、1時間値の1日平均値がすべての有効測定日(1日20時間以上の測定が行われた日をいう。)で0.1mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ1時間値がすべての測定時間において0.2mg/m<sup>3</sup>以下をいう。

2 長期的評価による適(○)とは、年間にわたる1日平均値のうち測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した後の最大値が0.1mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ年間を通じて1日平均値が0.1mg/m<sup>3</sup>を越える日が2日以上連続しないことをいう。

3 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画(平成31年4月)」に基づき、令和元年度に三日曾根観測局及び自動車排ガス観測局の小杉鷲塚局、小杉下条局の測定が終了。

資料：富山県環境白書

### 134 光化学オキシダントに係る環境基準の適合状況

区分	年平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	1時間値が 0.06ppmを 超えない 場合の割合 (%) ND~2.4	
		0.06ppm以下 であること		
三日曾根 観測局	平成27年度	0.035	0.102	93.1
	平成28年度	0.035	0.087	93.3
	平成29年度	0.035	0.114	93.1
	平成30年度	0.033	0.087	94.7
	令和元年度	-	-	-
海老江 観測局	平成27年度	0.037	0.109	91.4
	平成28年度	0.036	0.083	92.9
	平成29年度	0.034	0.110	94.7
	平成30年度	0.035	0.084	95.4
	令和元年度	0.034	0.099	96.1
太閤山 観測局	平成27年度	0.031	0.106	94.3
	平成28年度	0.030	0.084	97.4
	平成29年度	0.031	0.104	95.1
	平成30年度	0.032	0.098	93.9
	令和元年度	0.029	0.099	96.3

- 注) 1 測定は、紫外線吸収法による。  
 2 光化学オキシダント注意報：1時間値が0.12ppmを超えた場合に発令  
 警報：1時間値が0.24ppmを超えた場合に発令  
 重大警報：1時間値が0.40ppmを超えた場合に発令  
 3 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画（平成31年4月）」に基づき、令和元年度に三日曾根観測局の測定が終了。

資料：富山県環境白書

### 135 地下水の水質測定と平均地下水位

①水質測定 (単位：mg/ℓ)

調査項目	測定地点	調査 地点数	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
硝酸性窒素 及び 亜硝酸性 窒素 [10]	黒河	2	0.2~2.1	ND~1.9	0.1~1.7	ND~1.6	ND~1.4
	大江	1	1.3	2.1	4.6	1.5	1.8

- 注) 1 調査項目の[ ]内は、環境基準値  
 2 NDとは、定量限界(砒素:0.005mg/ℓ、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素:0.1mg/ℓ)未満  
 3 測定結果は、調査地点毎の年平均値

②平均地下水位 (単位：cm)

観測井	井戸の深さ (m)	標高 (m)	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
寺塚原	150	6.22	-157	-173	-316	-128	-72
作道	100	2.41	-45	-57	-117	-38	-23

注) 地下水位は、地表面を基準として地上を+、地下を-で表記

資料：富山県環境白書

### 136 庄川水域等(庄川、内川、下条川、新堀川、富山新港等)の水質測定

①河川水質の年度別推移

河川名	測定地点	水域 類型	項目	基準値	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
庄川	大門大橋	A	pH	6.5以上 8.5以下	7.3	7.5	7.4	7.4	7.8
			BOD (mg/ℓ)	2以下	0.6	0.6	0.6	<0.5	<0.5
			DO (mg/ℓ)	7.5以上	10.0	11.0	11.0	10.0	11.0
			SS (mg/ℓ)	25以下	5.0	2.0	8.0	5.0	2.0
内川	西橋	C	pH	6.5以上 8.5以下	7.4	7.5	7.5	7.4	7.5
			BOD (mg/ℓ)	5以下	1.9	2.3	1.1	1.2	0.8
			DO (mg/ℓ)	5.0以上	9.1	8.9	9.1	9.0	9.0
			SS (mg/ℓ)	50以下	7.0	4.0	5.0	6.0	4.0
	山王橋	C	pH	6.5以上 8.5以下	7.9	8.0	7.8	7.9	8.0
			BOD (mg/ℓ)	5以下	1.2	1.6	1.2	0.6	1.5
			DO (mg/ℓ)	5.0以上	9.0	9.0	9.1	9.3	8.9
			SS (mg/ℓ)	50以下	6.0	4.0	6.0	6.0	4.0
下条川	稲積橋	A	pH	6.5以上 8.5以下	7.4	7.4	7.4	7.3	7.4
			BOD (mg/ℓ)	2以下	1.5	1.9	0.8	1.0	1.0
			DO (mg/ℓ)	7.5以上	9.3	9.4	9.6	9.0	9.1
			SS (mg/ℓ)	25以下	9.0	6.0	7.0	8.0	6.0
新堀川	白石橋	B	pH	6.5以上 8.5以下	7.3	7.5	7.3	7.3	7.3
			BOD (mg/ℓ)	3以下	1.9	2.5	1.3	1.2	1.4
			DO (mg/ℓ)	5以上	9.0	8.7	9.0	8.6	8.7
			SS (mg/ℓ)	25以下	7.0	6.0	7.0	8.0	6.0

注)測定値は、年平均値(ただし、BODの測定値は、75%水質値)

資料:富山県環境白書

※ 主幹排水路

西部主幹排水路	排水機場	-	BOD (mg/ℓ)	-	1.3	1.1	2.3	0.9	0.8
東部主幹排水路	排水機場	-	BOD (mg/ℓ)	-	1.7	1.6	2.6	1.3	1.3

注)測定値は、75%水質値

資料:富山県環境保全課

②海域水質の年度別推移

海域名	測定地点	水域 類型	項目	基準値	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
第一貯木場	姫野橋	C	pH	7.0以上 8.3以下	8.0	8.0	8.0	8.0	8.1
			COD (mg/ℓ)	8以下	3.3	3.0	3.4	3.0	3.3
			DO (mg/ℓ)	2.0以上	8.6	8.4	8.2	8.7	8.2
中野整理場	中央	C	pH	7.0以上 8.3以下	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
			COD (mg/ℓ)	8以下	3.9	3.0	3.7	4.0	3.3
			DO (mg/ℓ)	2.0以上	9.0	8.4	8.4	9.1	8.4
富山新港	港口	B	pH	7.8以上 8.3以下	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
			COD (mg/ℓ)	3以下	2.4	2.0	2.0	2.2	2.3
			DO (mg/ℓ)	5.0以上	8.5	8.3	8.2	8.7	8.2
富山湾	海王町沖	A	pH	7.8以上 8.3以下	8.1	8.2	8.2	8.2	8.3
			COD (mg/ℓ)	2以下	2.0	1.8	2.2	1.3	1.8
			DO(表層) (mg/ℓ)	7.5以上	7.7	7.8	7.7	7.3	8.1
			DO(中層) (mg/ℓ)		7.4	7.4	7.4	7.2	8.4
	海竜町沖	A	pH	7.8以上 8.3以下	8.1	8.2	8.2	8.2	8.3
			COD (mg/ℓ)	2以下	1.7	1.7	2.3	1.6	1.6
			DO(表層) (mg/ℓ)	7.5以上	8.0	7.8	7.6	7.1	8.3
DO(中層) (mg/ℓ)	7.7	7.4	7.2		7.1	7.7			

注)測定値は、年平均値(ただし、CODの測定値は、75%水質値)

資料:富山県環境白書  
環境課